

2012年9月24日

マレーシア生産 SUBARU XV をインドネシアモーターショーで初公開

富士重工業は9月20日、インドネシアのジャカルタで開催中のインドネシア国際モーターショーにおいて、マレーシアでKD生産したSUBARU XVの試作車を初公開しました。KD生産の量産開始は2013年1月を予定し、タンチョングループのTan Chong Motor Assemblies Sdn. Bhd (TCMA)にて年間5,000台規模のKD生産を計画しています。

SUBARU XVは流麗で力強いエクステリアデザインを特長とし、スバルならではの信頼感のある走り、優れた安全性と高い環境性能を実現したスバルの新型クロスオーバーSUVです。インドネシアでは、今回の発表をもって正式に受注が開始され、今後タイやマレーシアへ展開する予定です。

マレーシアにおけるSUBARU XVのKD生産は、中期経営計画“Motion-V”において日本と北米での生産能力増強と共に、生産体制構築の一項目として掲げており、今回のモーターショーでの試作車公開は、計画が順調に進捗していることを意味します。スバルは成長を続けるアセアン地域でSUBARU XVの拡販を目指していきます。



マレーシアでKD生産したSUBARU XVの試作車